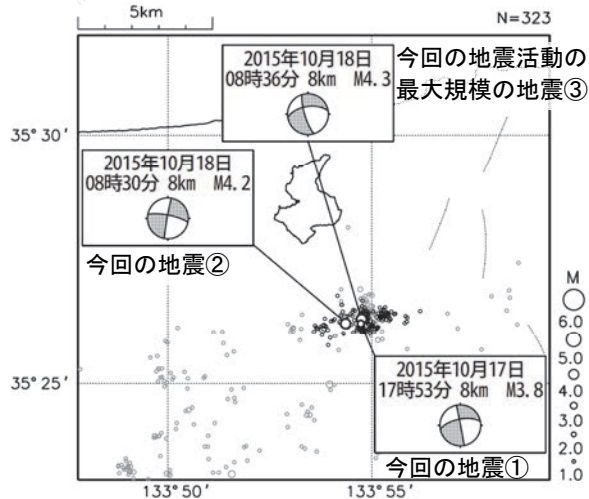
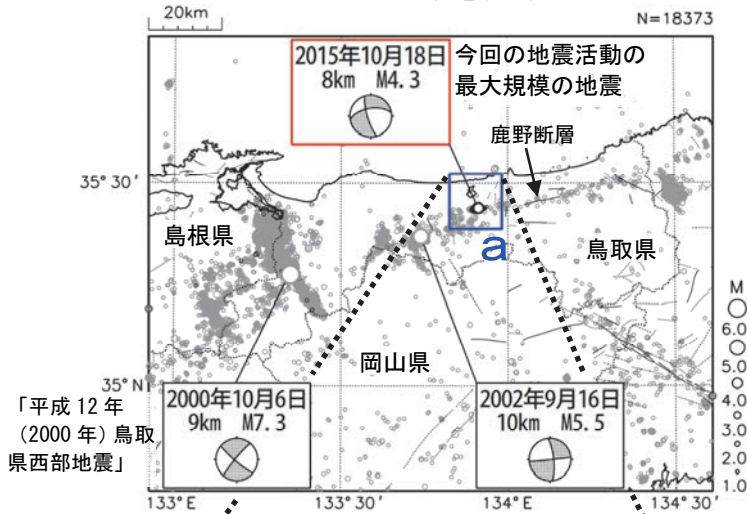


10 月 15 日からの鳥取県中部の地震活動

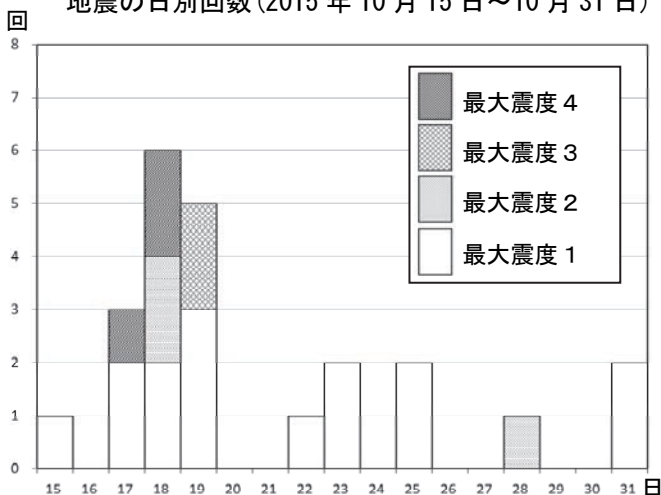
震央分布図

(2000 年 10 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～20km、 $M \geq 1.0$)
2015 年 10 月の地震を濃く表示



図中の細線は「新編日本の活断層」による活断層帯を示す

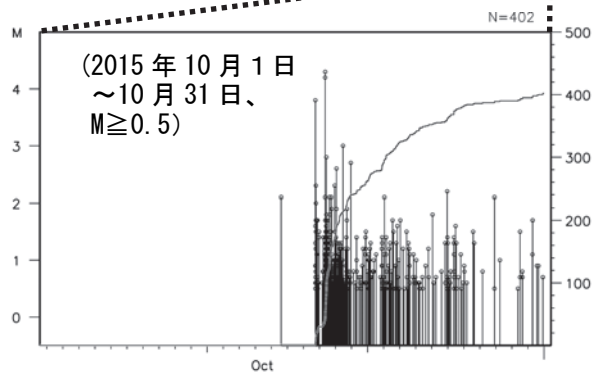
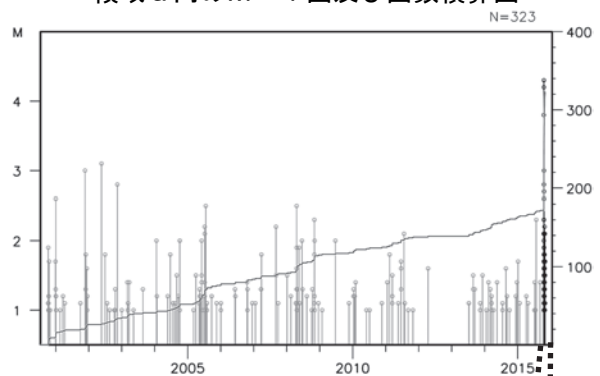
今回の地震活動で最大震度 1 以上を観測した地震の日別回数 (2015 年 10 月 15 日～10 月 31 日)



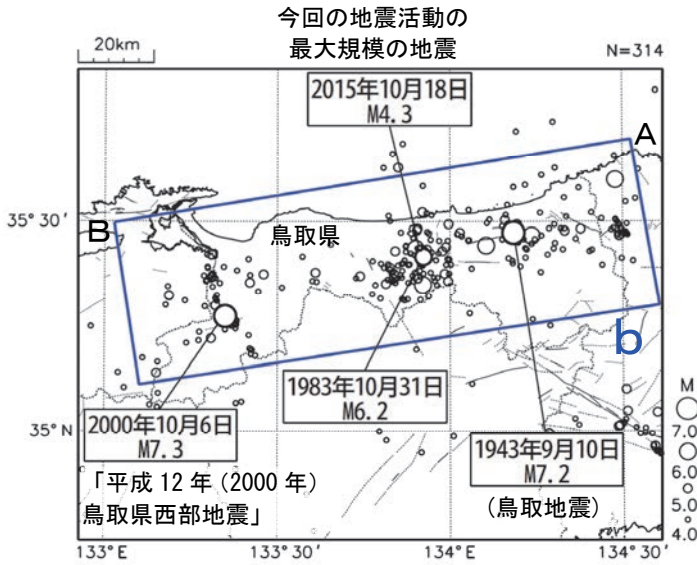
2015 年 10 月 15 日から鳥取県中部でまとまった地震活動が見られ、31 日までに最大震度 1 以上を観測する地震が 23 回 (最大震度 4 : 3 回、最大震度 3 : 2 回、最大震度 2 : 3 回、最大震度 1 : 15 回) 発生した。今回の地震活動は 10 月 18 日が最も活発で、その後徐々に落ち着きつつある。今回の地震活動は地殻内で発生し、そのうち、最大震度 4 を観測した地震は、10 月 17 日 17 時 53 分に深さ 8 km で発生した M3.8 の地震① (発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型)、10 月 18 日 08 時 30 分に深さ 8 km で発生した M4.2 の地震② (発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型)、10 月 18 日 08 時 36 分に深さ 8 km で発生した M4.3 の地震③ (発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型) である (○付き数字は左中央の震央分布図内の○付き数字と対応)。

2000 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の活動領域付近 (領域 a) では、M2.0 以上の地震が年に数回程度発生しているが、M4.0 以上の地震は今回が初めてである。今回の地震の震央から西南西に約 20km 離れたところで、2002 年 9 月 16 日に M5.5 の地震 (最大震度 4) が発生し、住家一部破損 8 棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

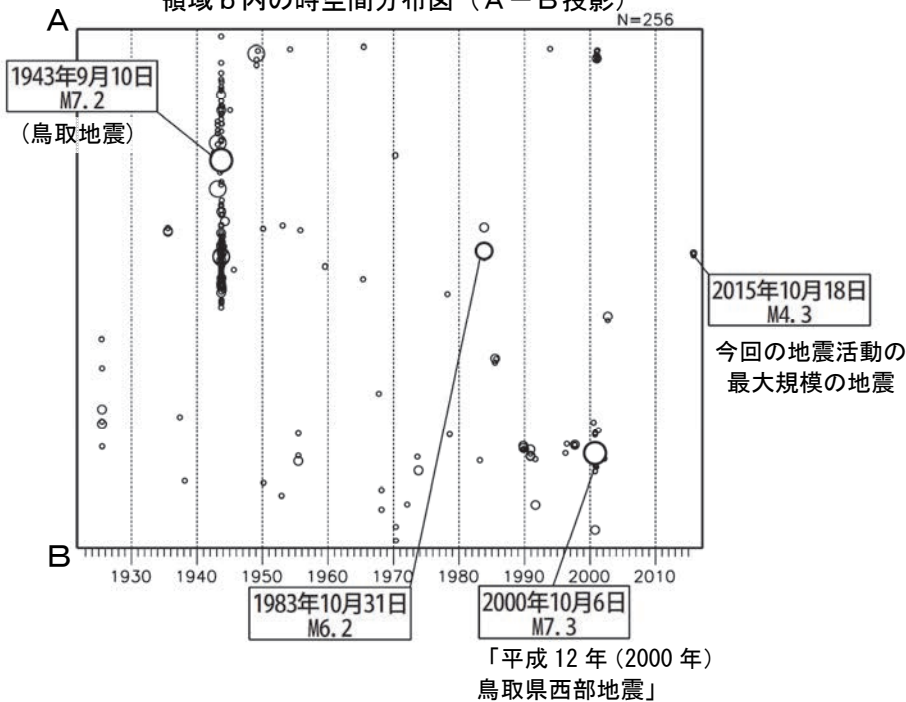


震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2015 年 10 月 31 日、
深さ 0～50km、 $M \geq 4.0$)



1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の活動領域の周辺 (領域 b) では、1943 年 9 月 10 日に M7.2 の地震 (鳥取地震) が発生しており、死者 1,083 人、重軽傷者 3,259 人などの被害が生じた。また、今回の地震活動の数 km 南方で 1983 年 10 月 31 日に M6.2 の地震が発生し、負傷者約 10 人、鉄筋コンクリート 3 階建建物の柱の剪断破壊などの被害が生じた (被害は共に「日本被害地震総覧」による)。2000 年 10 月 6 日には「平成 12 年 (2000 年) 鳥取県西部地震」(M7.3、最大震度 6 強) が発生し、負傷者 182 人、住家全壊 435 棟、住家半壊 3,101 棟などの被害を生じた (被害は、総務省消防庁による)。

領域 b 内の時空間分布図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図

